| 学校番号 | １０１２ |
|---|---|

# 令和８年度　芸術科

| 教科 | 芸術 | 科目 | (学)生活デザイン | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | なし | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

| |
|---|
| 工芸の目標の一つである「使えるモノづくり」ではなく、デザインを重視して制作を行っていく。作品制作を通して自己を追求し、工芸的、あるいは美術的な見方を深め、個性的な発想、制作への創造的な構想から独創性の強い作品をめざす。 |

2　学習の到達目標

| |
|---|
| ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようになる。・表現の意図と工夫の仕方を考え、創造的に発想し、構想できるようになる。・造形表現、独創性を追求し、主体的に造形活動に取り組む姿勢を養う。 |

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深め、基本的な技能を作品に生かすことができる。<br>・創造的な表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫することができる。 | ・造形的なよさや美しさ、表現の意図などについて考え創造的な表現を工夫することができる。<br>・自分で主題を生成し発想や構想を練ったり、造形的な見方や感じ方を深めたりできる。 | ・主体的に美術工芸の創造活動に取り組み、自己をみつめ、感性を高め、造形表現、独創性を追求することができる。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 銅板レリーフ | ・アイデアデザイン<br>・デザイン画作成<br>・作品制作<br>・額装する<br>・展示<br>・鑑賞、感想レポート | a:機械や道具の使用方法を理解して、自分のデザインを表現するための創意工夫ができる。<br>b:自分で主題を生成し、素材の特質や表現の多様性などを生かした作品の構想を練り、表現できる。<br>c:最後まで丁寧に作品に向き合い、自分のテーマを表現しようと努力できる。<br>他者の作品を鑑賞し、自分の制作を振り返ることで、造形的な見方を深め、次の作品に生かそうとできる。 | アイデアデザイン<br>作品 | アイデアデザイン<br>作品 | 作品<br>鑑賞・振り返りシート |
| 2学期 | 陶板レリーフ | ・アイデアデザイン<br>・デザイン画作成<br>・作品制作<br>・展示<br>・鑑賞、感想レポート | a:機械や道具の使用方法を理解して、自分のデザインを表現するための創意工夫ができる。<br>b:自分で主題を生成し、素材の特質や表現の多様性などを生かした作品の構想を練り、表現できる。<br>c:最後まで丁寧に作品に向き合い、自分のテーマを表現しようと努力できる。<br>他者の作品を鑑賞し、自分の制作を振り返ることで、造形的な見方を深め、次の作品に生かそうとできる。 | アイデアデザイン<br>作品 | アイデアデザイン<br>作品 | 作品<br>鑑賞・振り返りシート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | オリジナルネームプレート | ・アイデアデザイン<br>・デザイン画作成<br>・型紙制作<br>・材料加工について<br>（機械類の説明と練習）<br>・機械類による加工<br>・着色<br>・仕上げ<br>・鑑賞、感想レポート | a:機械や道具の使用方法を理解して、自分のデザインを表現するための創意工夫ができる。<br>b:自分で主題を生成し、素材の特質や表現の多様性などを生かした作品の構想を練り、表現できる。<br>c:最後まで丁寧に作品に向き合い、自分のテーマを表現しようと努力できる。<br>他者の作品を鑑賞し、自分の制作を振り返ることで、造形的な見方を深め、次の作品に生かそうとできる。 | アイデアデザイン<br><br>作品 | アイデアデザイン<br><br>作品 | 作品<br><br>鑑賞・振り返りシート |
| 3学期 | オブジェ | ・アイデアデザイン<br>・デザイン画作成<br>・オブジェの理解と発想<br>・材料加工の理解<br>・制作<br>・仕上げ<br>・完成<br>・鑑賞 | a:機械や道具の使用方法を理解して、自分のデザインを表現するための創意工夫ができる。<br>b:自分で主題を生成し、素材の特質や表現の多様性などを生かした作品の構想を練り、表現できる。<br>c:最後まで丁寧に作品に向き合い、自分のテーマを表現しようと努力できる。<br>他者の作品を鑑賞し、自分の制作を振り返ることで、造形的な見方を深め、次の作品に生かそうとできる。 | アイデアデザイン<br><br>作品 | アイデアデザイン<br><br>作品 | 作品<br><br>鑑賞・振り返りシート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度